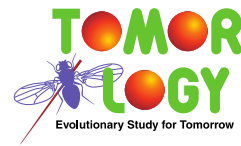


第16回 KITライフサイエンスセミナー



演者 高野 敏行

京都工芸繊維大学大学
院



IRUDにみるネットワーク型研究と 個人研究へのインパクト

日時 4月27日(金) 17:00 - 18:00

会場 京都工芸繊維大学 1号館 2階 0122号室

対象 教員, 学生, 一般の方

5,000種を超えるといわれる稀少疾患の罹患者はあわせて世界で4億人に達すると見積もられています。個々の疾患は稀なために患者は固有の悩みや苦痛をかかえています。実際、診断がつくまでに5年以上かかることも稀でなく、半数以上のひとが3人以上の医者にかかるとの報告もあります。さらに間違った診断を下されることもあります。こうした状況を速やかに改善すべく、日本医療研究開発機構(AMED)は2015年より未診断疾患イニシアチブ(IRUD)を旗揚げしました。さらに昨年、IRUD Beyond“モデル動物等研究コーディネーティングネットワークによる稀少・未診断疾患の病因遺伝子変異候補の機能解析研究”が国立遺伝学研究所を代表に始まりました。私もモデル生物コーディネーター委員をしています。こうした稀少疾患に関わる国内外の動きを紹介し、関連する研究への参画をよびかけます。

また私の個人的な興味から進める、精子形成の経路で起きる著しく速い進化についても合わせ紹介します。



連絡先 国立大学法人・京都工芸繊維大学・応用生物学系
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
Tel. 075-724-7799、e-mail. bio_office@kit.ac.jp

事前登録無用
参加費無料